



ンさんでございます。

お二人には後ほどご挨拶をいただきます。

### 美しい日本・春は花

さて、豊年祭に合わせた様に梅が見頃を迎えました。本日は名実ともに梅見例会でございます。梅のあとは桜です。岩倉の五条川の桜はさぞや見事な美しさだろうと思います。春は花ですね。

1968年ノーベル文学賞を受賞された川端康成さんが受賞式には「紋付き羽織袴」で登場され、受賞記念講演では、開口一番「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて冷(すず) しかりけり」道元の歌を引いて「私はそんな四季折々の風光が美しい日本からやってきました」と語り始められました。その講演のタイトルも「美しい日本の私」でございました。

### 自然と共に生きてきた日本人

さて、日本人の歴史はたかだか2025年ごとではありません。15000年、縄文時代に遡ります。四季折々の自然の恵みを享受して自然と共に生きてきた縄文人は「自然を敬い、自然に感謝し、自然を慈しむ心」を育ててまいりました。しかし、日本は自然災害の多い国。地震、台風、火山活動、大雨洪水。とにかく「抗うことができない自然の大きな力」の前ではただひれ伏すことしかできません。そこで、縄文人は自然に対する畏敬の念、怖れを強く抱くようになります。

### 八百万の神々

このような縄文人の自然に対する「敬いと感謝と怖れ」の気持ちが、多神教的信仰を生み出します。海には海の神、川には川の神、山には山の神、土地には産土神、早い話が森羅万象すべてに神宿るということで「八百万」の神々が登場します。この神々を尊ぶ気持ちが、神道へとつながってまいります。更にこの神道は、538年「仏教伝来」とともに次第に仏教と結びついて日本の神々と仏教の仏が融合してまいります。実は仏教にも「森羅万象すべてに仏の命宿る(一切衆生悉有仏性)」という教えがあります。これが後の「神仏習合」へとつながっていくということになります。

そんなこんなで私は僧侶ではありますが、大縣神社様を始め、神社の前を通る時は必ず拝礼をしています。先程は御祈禱を頂戴いたしました。とても有り難いひとときでした。日比野宮司様他職員の皆様に御礼申し上げます。



### 岩倉 RC 会長挨拶 (檜木 治幸会長)



皆さん、こんにちは。本日は、犬山ロータリークラブとの合同例会ということで、松平会長はじめ、犬山ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。

ありがとうございます。

私たち岩倉ロータリークラブは会員10名の2760地区最小のクラブですが、昨年度45周年を迎えました。その記念事業の一環として、姉妹クラブである長野県の佐久ロータリークラブと一緒に「(伊勢)神宮」への正式参拝をさせていただきました。その際、この大縣神社の日比野宮司様にお口添えいただき大変お世話になりました。そのご縁で一度みんなで大縣神社に伺いたいということになり、せっかくなら梅の季節にとの薦めで今日に至った次第です。

今日は一日お世話になりますが、どうぞよろしくお願いたします。



### ロータリー米山奨学生



### 奨学金(3月分)を授与しました

🌸 今後益々のご活躍を祈念いたします 🌸

### ◇グエン ティ フェン・チャンさん ご挨拶



皆さま、こんにちは。

これまでの2年間、本当にありがとうございました。犬山クラブでは、私の人生で初めての経験をたくさんさせていただきました。初めての鵜飼や新年会に参加したこと、誕生日を多くの方にお祝いいただいたこと、京都や奈良へ旅行に行ったこと、そして懇親会などを通じて貴重な体験ができたことは私にとってかけがいのない思い出でした。

また素晴らしい社長の皆さまと出会い、お話しする機会をいただきました。そして例会ではいつも皆さまが温かく笑顔で迎えてくださり、本当に心の支えとなりました。

奨学生として過ごしたこの2年間で私は多くのものを得ることができました。経済的なご支援のおかげで安心して勉強に集中することができました。毎回のスピーチを通じて、人前で話すことに少し自信を持てるようになりました。また、皆さまにベトナムの文化や私の故郷を紹介する機会をいただき、ロータリー活動

を通じて日本の文化にも触れることができました。

そして何より、皆さまからの温かい応援が私にとって最大の支えでした。「チャンさんならできるよ」「就職で困ったらいつでもおいで」「何かあれば相談してね」といった皆さまの言葉が励みとなり、無事に就職活動を乗り越えることができました。

本日は心からの感謝をお伝えしたいと思います。この2年間で得たものは、皆さまの支えがなければ決して得られなかったものです。

稲垣会長、松平会長、ここにいらっしゃる皆さまに心からの感謝を申し上げます。また生活面や就職活動で助けてくださったカウンセラー 千田さん、近藤さん、美味しいお米を送ってくださった丹羽さん、そして何でも相談できる梅田さん、本当にありがとうございました。

私は犬山で就職することはありませんが、皆さまからいただいたご恩を忘れず、日本企業で貢献し、将来はベトナムと日本の架け橋になれるよう努力してまいります。

奨学生としての期間は本日で終わりますが、これでご縁が切れるわけではありません。今後も皆さまと交流する機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

最後になりますが、犬山クラブのさらなる発展と、皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

改めてこの2年間、本当にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

#### ◇ラフマトウツラエフ、ウスモンさん ご挨拶

(世話クラブ; 岩倉 RC)



ご存知の方もいらっしゃると思いますが、今日で犬山ロータリークラブと合同例会に参加するのが2回目になります。

簡単な自己紹介をさせていただきたいと思います。

ウスモンと言います。ウズベキスタン出身です。チャンさんと同じ、名古屋経済大学で勉強をしています。チャンさんは余裕で卒業をされていますが、私はギリギリ卒業しました。

本日、米山の奨学生として最後の例会になります。いつも岩倉ロータリークラブでは少人数での例会となっていて、最後の例会がにぎやかでとても嬉しく思っています。

米山 rotary を通して、様々な研修会やセミナー、地域大会などに参加して、日本の文化と習慣に触れることができました。日本に対しての知識がさらに高くなったと感じています。

この場を借りて、二年間を世話してくださった岩倉ロータリークラブのみなさんに感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



#### S. A. A. 担当例会 (兒玉 寿 S.A.A.)

#### 卓 話

☆大縣神社 代表役員宮司 日比野 健 様



#### 「日本人とお花見」

大縣神社は尾張開拓の祖神を祀る神社であります。丹羽郡は今、大口町、扶桑町しか残っておりませんが、犬山市、岩倉市共に旧丹羽郡でございます。

クラブのメンバーの中にも丹羽さんがいらっしゃいますが、ここの神様の末裔の方であります。「ニワ」という名は大縣の神様からの頂き物です。

本日は、旧丹羽郡の犬山ロータリークラブ様・岩倉ロータリークラブ様の例会が大縣神社を会場に開催されますこと大変嬉しく、意義深い会になる事を願っておりますが、何故新米宮司故良い話が出来のかわかりませんが、一生懸命努めさせていただきますので、宜しくお願い致します。

2月になりますと各地で梅だよりが聞こえてきますが、本年は雪だよりを毎日のように聞いておりましたが、梅のウの字も聞く事無く3月を迎えてしまいました。お陰で今年の2月のバスツアーはどれもキャンセルとなり静かな日々を過ごす事が出来ました。例年、今頃の時期は梅が散っています。今日、御覧頂いて梅の花が付いてないのは、散ってしまったのではなく、今から咲く樹であります。やっと梅の花が開いて参りましたが、残念なことに今日は朝から雨であります。花の見頃は、咲き始めだと云います。今日は皆様の為に梅たちが寒さに耐え綺麗な花を咲かせておりますので、是非とも下の方からでも眺めて頂ければ幸いです。

日本人には馴染みの「お花見」ですが、一体いつの時代から行われているのでしょうか。

お花見は春の風物詩でもありますが、その歴史は奈良時代までさかのぼります。この時代の花見といえば、やはり梅見を云います。当時の日本は遣唐使を介した中国との交易が盛んであり、中国由来の梅は上品で甘い香りをほのかに匂わせ、百花の魁といわれ、どの花より早く寒さに耐え花を咲かせることから正に春の訪れを告げる縁起の良い花とされておりました。また梅は舶来品であることから梅を愛でることは貴族にとってはステータスであったともいわれております。しかし本当の目的は、梅の花には魔除けの力があると信じ

られ、奈良時代の花見は、お祓いの儀式的な意味合いが強かったといわれています。こうして貴族を中心に好まれ、愛されてきた梅ですが、当時の貴族の優雅な風習といえば「歌を詠む事」でした。『万葉集』では、桜を詠んだ歌は 43 首で、梅は桜の倍以上の 115 首詠まれております。これが現在の花見の原型になったともいわれております。

また春の風物詩として梅と二分する桜。サクラの「サ」は田の神様をさします。「クラ」は神様のお座りになる場所を意味しています。つまり「サクラ」は春になると山から下られてきた神様が田の神様となり秋の収穫を見届けるまでの一年間里をお守り下さる。その神様が一時的にお休みになる場所、依代(よりしろ)とされていました。そのため、桜が咲くことは「神様が山から下りてきた証」と考えられ、皆で集まってお酒や食べ物をお供えし歌舞をしておもてなしをした事に始まるとも考えております。また、当時の人々は桜の花の咲き具合によって、その年の稲の吉凶を占い、田植えの時期を決めておりました。美しい桜の花が咲く時期を、田植えの準備に取り掛かるのに最適な時期と考えていたと思われまふ。現在、桜は 3 月下旬から 4 月にかけて咲きます。寒さの残るこの時期に田植えをしたかと云うと、もちろんそうではありません。現在、私たちが目にする桜はソメイヨシノです。ソメイヨシノは、江戸時代に、花が大振りで香りのよい「大島桜」と花が咲いた後に葉が出てくる「江戸彼岸桜」を交配させ品種改良したもので、早咲きで一度に咲く事から全国に植えられるようになりましたが、この時代の桜と云えば山桜を指します。5 月をサツキと云いますが、「サ」ツキに咲くヤマザクラを見ると田植えの準備をしておりました。田植は、神社や小屋にお籠もりをして穢れを祓った早乙女が皀月衣装という晴れ着を着て華やかにいきます。植える若い苗はもちろん「サ」がつくサナエであります。またサクラが美しいのは神様が宿っているからといわれております。平安時代になると大陸との行き来が無くなり、日本独自の文化が発展していきます。これを契機に日本古来の文化や、美德に人々が注目し始め、この時を境に花といえば「梅」ではなく「桜」を指すようになっていきました。

お花見の初見は、平安時代に編纂された勅撰史書『日本後記』に、812 年 3 月 28 日神泉苑にて「花宴の節(かえんのせち)」を催したと記され、このときすでに、花見の対象は梅ではなく桜になっていたと考えられます。

その理由の 1 つとして、嵯峨天皇は桜を好んだと伝えられております。嵯峨天皇は地主神社の桜を大変気に入り、それ以来毎年、地主神社に桜を献上されたといわれております。以後花見が天皇主催の定例行事となり、その様子は『源氏物語』でも窺い知ることが出来ます。

庶民が花見をするきっかけを作ったのは、江戸時代に入ってからで、8 代将軍徳川吉宗の時代でした。吉宗は隅田川堤防や飛鳥山に大規模な桜の植栽を行い、庶民が桜を楽しむ場を与え、農村部に積極的な桜の苗を促進し、江戸の桜の見どころの基礎を築いたとされ

ております。吉宗により、庶民の春の行楽となった花見ですが、山の神を尊びおもてなしの品々を持ち寄り歌舞を捧げ、豊作を祈願する。また神様のお下がりとしてお供えの品々を頂きうたげをする。この事により神様の御神威を戴き、無病の息災を願う当時の人々の思いが込められていたのではないかと思います。

また、一方で、桜の花は満開となるや直ぐ散ってしまうという儚さや人智の及び依らない力、花が散り舞う時に疫神、病気の種も共に分散し、疫病をもたらすと考えておりました。

現代のように医療技術が発達してない古代にあって、病はいとも簡単に人の命を奪いました。またそれは命の糧である稲を始めあらゆる物の命まで奪う。そこで疫病の流行を防ぐため、桜の花が飛散する時期に鎮花祭と云うお祭りが現在でも行われております。

古来より日本人に大切にされてきた梅の花。時代の流れに押され、平安時代以降は春の主役は、何と云っても桜となっております。その中でも、日本の桜 100 選に選ばれております岩倉の桜は一見の価値があります。市内を流れる五条川沿い 7.6 キロに 1300 本を超える桜が植栽され、満開を迎えると川面を覆う桜の花は圧巻です。先程も申し上げましたが、桜が美しいのは神様がいらっしゃるからです。岩倉の場合は 1300 柱の神様が宿っておられるからより美しいのです。又、岩倉の「クラ」もサクラと同義語であります。

愛知県内に 23 箇所の「イワクラ」と云う地名があるそうですが、岩倉市の磐座は新溝神社境内から出土した古代祭祀の跡である巖かて大きな岩、磐座(イワサカ・イワクラ)からきている地名であります。社殿がない時代の祭祀は、皆さんが家を建てられる時に行う地鎮祭の様子にお祀りのつど神様をお呼びして祈願しておりました。その神様がお降りになる場所が大きな磐、つまり『イワクラ』であります。イワクラは神様が御降臨になられる清浄な場所だからこそ一段と美しい花を咲かせるのだと思います。今年の岩倉の五条川の桜まつりは、3 月 28 日金曜日から 4 月 6 日日曜日に亘りまして開催されます。特に 18 時から 20 時 30 分まで行われる夜桜ライトアップは情緒を誘い風情がありますので是非ともお出かけ頂きたく存じます。

桜の木には神様がいらっしゃると思うと何だか気が抜けなるとはではないでしょうか？日本には、神人和楽と言う言葉があります。神様と人が一緒になって楽しむことを云います。神様は、「人が楽しんでいる姿」を観て力を増すと云われております。人が「楽しむ」という事は、大変尊いことであり、また周りの人を楽しませると云う事はもっと尊い事だと思ひます。皆様方には、待ちに待ったこの春をおうかして頂きたく存じます。

ご清聴頂きありがとうございます。



#### 閉会点鐘挨拶 (松平 實胤会長)

日比野宮司様、卓話ありがとうございます。

チャンさん、ロータリーの奨学生は修了ですが、また気軽に顔出し下さい。岩倉のウズモンさん、益々の御活躍を祈っています。

では閉会します。



\* \* \* 梅 \* \* \*



### ご 報 告

#### ○「働く人に学ぶ会」

報告；山根雄司奉仕プロジェクト・社会奉仕委員長

犬山市立東部中学校において2月20日（木）13：25～15：05「働く人に学ぶ会」が行われ、稲垣さん、清水さん、梅田さん、宇佐美さん、下平さんの5名に講師を受けていただき講演を行いました。

講師をお受けいただいた皆さん、ありがとうございました。





### ○青少年育成事業「3年生少年サッカー大会」

担当；米山記念奨学会・青少年奉仕委員会

3月8日（土）9：00～14：00、羽黒中央公園「多目的スポーツ広場」において青少年育成事業「3年生サッカー大会」を青少年育成に携わる団体及び犬山市・扶桑町各小学校の合計7チーム（\*小学3年生以下の混成チーム）で行いました。

当日お手伝いや応援にお越しいただいた皆さん、ありがとうございました。

